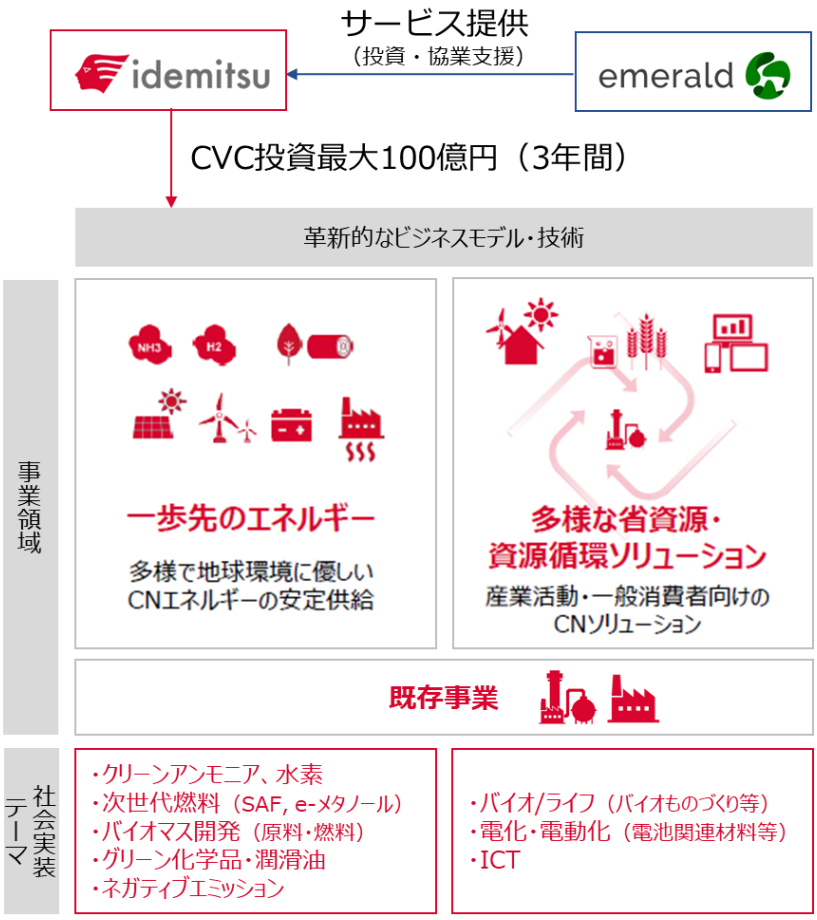
2024 年 8 月 9 日
出光興産株式会社

ベンチャーキャピタル Emerald Technology Ventures と CVC 推進のためのパートナーシップを締結 －3 年間で最大 100 億円を投資－

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木藤俊一、以下「当社」）は、次世代事業の創出と既存事業の強化を目的として、スイスのマテリアル・クリーンテック系ベンチャーキャピタル Emerald Technology Ventures（本社：チューリッヒ、以下「Emerald 社」）と、コーポレート・ベンチャー・キャピタル（以下「CVC*」）推進のためのパートナーシップを締結しました。また、当社内に CVC 専門組織を立ち上げるとともに、CVC 投資予算枠として 3 年間で最大 100 億円を設定しました。

*Corporate Venture Capital：既存事業とのシナジーや新規事業創出を目的として未上場の新興企業（スタートアップ）に出資や支援を行う活動。



本取り組みの概略図

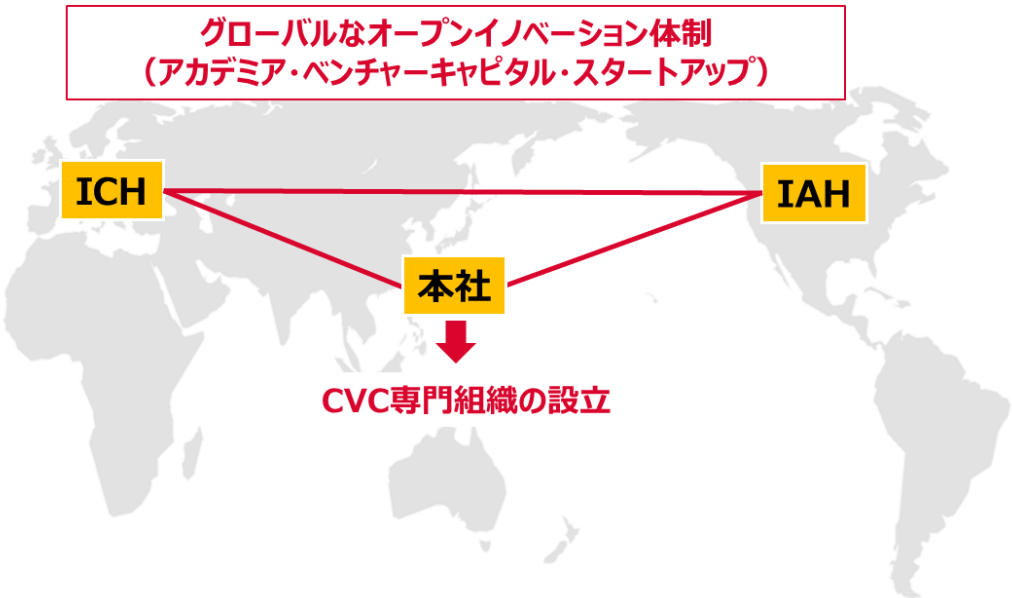
当社は、2020 年に Emerald 社が運営するファンドに出資し、Emerald 社のネットワークを活用して欧米スタートアップとの連携に向けた検討を進めてきました（2020 年 11 月 16 日：欧州ベンチャーキャピタル Emerald Technology Ventures が運営するオープンイノベーションファンドへの出資）。

このたび当社は、次世代事業創出・既存事業強化のため、2024～2026 年度の 3 年間で最大 100 億円の投資予算枠を設定しました。また、スタートアップとの戦略シナジーを最大限に生み出しつつ、当社の事業ポートフォリオ転換を加速することを目的に、Emerald 社と CVC 推進のためのパートナーシップを締結しました。Emerald 社の支援を得ながら、ソーシング・投資検討・投資先フォローアップまでの一貫したプロセスを構築します。

投資領域は、既存事業領域に加えて、当社が目指す 3 つの事業領域のうちの「一歩先のエネルギー」「多様な省資源・資源循環ソリューション」となります。これらの領域に投資することにより、循環型社会およびカーボンニュートラルの実現を目指します。

これに併せて、社内に CVC 専門組織を立ち上げました。Emerald 社と緊密に連携するなどして、欧州・北米・アジアでのスタートアップへの投資、共同事業開発等を加速します。

近年、当社はグローバルなオープンイノベーション体制の強化を図り、主に Idemitsu Americas Holdings Corporation（IAH、米国）、Idemitsu Research and Business Development Europe AG（ICH、スイス）、本社（日本）の 3 拠点においてアカデミアとの包括的な取り組みやスタートアップへの出資・連携など技術革新を生み出す様々な社外連携を推進してきました。CVC 専門組織はこれら 3 極の連携を更に強化するものです。



当社のオープンイノベーション推進体制

当社は、本取り組みを通じて、既存事業の更なる収益力向上・次世代事業の創出による事業ポートフォリオ転換・事業構造改革の推進をさらに加速してまいります。

【CVC 概要】
投資領域：一歩先のエネルギー、多様な省資源・資源循環ソリューション
投資予算：最大 100 億円（2024～2026 年度　3 年間）
CVC 専門組織：事業投資統括室 CVC チーム（2024 年 7 月 1 日設置）
人員体制：スイス（２名)、米国（１名)、日本（１名）

【Emerald 社概要】

会社名	Emerald Technology Ventures
設立年	2000 年
本社所在地	スイス　チューリッヒ
事業内容	オープンイノベーションベンチャーキャピタル事業
URL	https://emerald.vc/

（ご参考）
当社のイノベーションマネジメント（研究開発）について
https://www.idemitsu.com/jp/sustainability/management/r_and_d/index.html

～　本件に関するお問い合わせ先　～

出光興産株式会社 広報部広報課
https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html